

## 著者略歴（掲載順）

2020年2月現在

### 十河 和貴（そごう かずたか）

1993年生

現 職：日本学術振興会 特別研究員（DC2）

立命館大学大学院 文学研究科人文学専攻日本史学専修博士課程後期課程

学 位：修士（文学）

専門分野：近代日本政党政治史・植民地期台湾政治史

主要論文：

- ①「台湾銀行頭取時代の中川小十郎と南進への理想—戦後不況と積極的財政整理方針の終焉—」  
（『立命館 史資料センター紀要』創刊号、2018年）
- ②「元老再生産と大正後期の政界—松方正義・牧野伸顕・平田東助を中心として—」（『日本史研究』第659号、2017年）

### 眞杉 侑里（ますぎ ゆり）

1985年生

現 職：立命館 史資料センター調査研究員、立命館大学授業担当講師

前 職：日本学術振興会特別研究員（DC2）

学 位：博士（文学）

専門分野：日本近代売春史、社会文化史

主要論文：

- ①「群馬県達摩屋の営業と出歩く酌婦」（井上章一・三橋順子編『性欲の研究 東京のエロ地理編』、平凡社、2015年）
- ②「1930年満鮮見学旅行にみる大学配属将校の活動と立命館の距離」（『立命館 史資料センター紀要』第2号、2019年）